平成24年度　事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	地域環境美化促進事業														継続
コード	50	－	23	－	01	－	00	予算事業名	地域環境美化促進						
担当部署	環境部		資源循環推進課			減量リサイクル推進担当		予算事業コード	会計	10	款	04	項	01	目 10

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け　位置付けなしの場合

法令による実施義務　義務ではない

基本目標(章)	5章	人と自然がともに生きる、地球環境にやさしいまち	根拠となる法令、条例等	なし
方向性(節)	2節	循環型社会の構築		
施策	3	廃棄物の適正処理	個別計画等の名称	川越市環境基本計画
細施策	4	不法投棄対策の徹底		

2. 事業の目的と概要

事業の目的（誰・何を対象に、何のために実施するのか）	市民や団体が、自主的な清掃活動により、ポイ捨てや散乱ごみのない快適なまちづくりを目指す。
事業の概要（活動内容、実施手段・方法など）	クリーン川越市民運動は、昭和58年から各団体が地域の清掃活動を実施し、出されたごみを市職員と委託業者が清掃センターに運搬する。また、地域環境美化支援制度は、ボランティアで清掃活動を行う団体に、ごみ袋の支給や清掃用具の貸与を行い、活動を支援する。

3. 実施にかかるコストと実績

（単位:千円）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		10,093	10,245	9,329	13,070	9,583	
事業費	A	8,855	9,561	6,655	11,699	9,583	9,583
人件費	B	9,250	9,250	7,770	7,770	5,180	5,180
総コスト（C＝A＋B）		18,105	18,811	14,425	19,469	14,763	14,763
正規職員（1年間の従事人数）		1.25人	1.25人	1.05人	1.05人	0.70人	0.70人
臨時職員（1年間の従事人数）		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	2,415	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担（＝C－D－E）		18,105	18,811	14,425	17,054	14,763	14,763

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	:中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	クリーン川越市民運動参加人数	人	111,673	80,734	52,009	70,011	1年間の参加人数
成果	地域環境美化活動支援制度参加団体	団体	49	37	45	41	1年間の参加団体数
活動	実施回数	回	2	2	1	2	1年間の市内一斉清掃活動の実施回数
活動	制度のPR回数	回	4	4	4	4	1年間の制度のPR回数

中心指標の考え方	本事業は、成果指標を中心に評価する。
指標に基づく評価	クリーン川越市民運動（ごみゼロ運動）は、参加人数や参加団体とも清掃活動当日の天候により左右されることが大きいため、安定した成果指標の達成は難しい事業である。また、地域環境美化支援制度は、参加団体数が伸びていない状況である。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況　有効性に課題

不法投棄やポイ捨てなどの散乱ごみをなくすためには、個人のモラルの向上が必要である。クリーン川越市民運動等は市民が自分たちでまちをきれいにすることにより、環境美化への啓発を促しているものであり、モラルの向上に有効な事業と考えるが、依然として散乱ごみが発生している状況にあるため、他の啓発活動などと併せて引き続き実施していく必要があると考える。

(2) 比較参考値（他市での類似事業の例など）

他市町村でも同様の取り組みを行っている。

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響

事業を廃止した場合、地域清掃に要する市の費用負担が増加する可能性がある。

(4) **所属長自己評価（今後の方向性）**　**継続**

市民や団体による自主的な環境美化活動に対する支援を充実させることによって、市が直接実施することによる財政負担の軽減が図られる。しかしながら、実施方法や支援の在り方について、費用対効果の検証を引き続き行う必要がある。